

5月の植物 ウツギ（空木） 学名：*Deutzia crenata* アジサイ科

5月になると山野にはなぜかしら白い花を咲かせる草木が多いようです。ウツギ、コツクバネウツギ、コバノガマズミ、カマツカ、オオカメノキ、クサイチゴ、ノイバラ、ヤブニンジン…と両手の指では足りないほどです。濃い緑の中に白色の花は目立ち、受粉のためにミツバチなどに分かるようにしているのだろうか。ハチの目から白い花を見たいと駆られます。今回のウツギも真っ白な花をたくさん咲かます。この時期、谷川沿いや林縁に満開する白い花はウツギと言ってほぼ間違いありません。純白の5弁の花と楕円形の形をした厚い緑色の葉は対生し、葉脈がはっきりしていてざらざらしています。別名は唱歌「夏は来ぬ」にはウノハナの名で登場します。おからもこの白さに似てウノハナといわれるようです。正式和名のウツギは「空木」で、幹や茎が中空になっているからです。花がない時のヤブムラサキと見分けるときの手立てになります。ウツギの仲間にはほかにマルバウツギ、ヒメウツギ、コウツギがあります。花のない時は葉の表面や裏面の毛（星状毛）の様子をルーペで見て区別しますが、素人にはなかなか難しいようです。



写真はマルバウツギ

2016.4.15 太良町中山